

最優秀演題候補発表

7月23日(土) 10:10～11:10 第9会場「展示室B」(神戸国際展示場1号館2F)

座長 山中 崇 東京大学大学院医学系研究科 在宅医療学講座
座長 森 清 社会医療法人財団大和会(やまとかい) 東大和ホームケアクリニック

MBP-1	燈スマホアタッチメント型細隙燈「スマートアイカメラ」による在宅遠隔眼科診療 -宮古群島における実績-	237
	泰川 恵吾 医療法人鳥伝白川会 ドクターゴン診療所	
MBP-2	北九州市における官民多職種連携による医療的ケア児支援のためのプラットフォーム作りの取り組み	237
	荒木 俊介 産業医科大学小児科 / コールメディカルクリニック福岡 / 北九州地域医療的ケア児支援協議会	
MBP-3	介護度と外脛骨筋の関連性についての検討 ～ベンケイノチカラコブ～	237
	石川 昌弘 さくらライフ市川クリニック / さくらライフ新丸子クリニック / 練馬さくら病院	
MBP-4	在宅患者のデイサービスでの体重測定に関する調査から見えてくること～地域生活期のバイタルサインとしての体重データを診療に役立てるために～	237
	梅沢亜由子 あおぞら診療所	
MBP-5	大学と行政が協働で運営する地域ケア会議の実践報告～多職種が学びあい、地域課題を共有することで実現するまちづくり～	238
	池田 寛 豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし / 藤田医科大学 地域包括ケア中核センター / 藤田医科大学 居宅介護支援事業所 / 藤田医科大学病院 医療連携福祉相談部	
MBP-6	在宅療養中の高齢非がん疾患患者における死亡の予測因子としての入院時 CONUT 値の評価：病棟単位の 前向きコホート研究	238
	三浦 久幸 国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部	

一般口演 1

教育と人材育成 1

7月23日(土) 8:40～9:20 第5会場「会議室501」(神戸国際会議場5F)

座長 水木麻衣子 東京大学大学院医学系研究科 在宅医療学講座
座長 太田 敦 医療法人あおい空 おおた在宅クリニック

O1-1	リハビリテーション科専攻医として有床診療所の在宅医療への関わりの経験	239
	望月 碧 森山リハビリテーションクリニック / 昭和大学医学部リハビリテーション医学講座	
O1-2	地域ケア会議に役立つケアマネジャー研修会～多職種で援助を言葉にするオンラインでの事例検討の進め方～	239
	久保田 千代美 Chiyomi Kubota Care 研究所 暮らしの保健室なら / (一社) エンドオブライフ・ケア協会	
O1-3	プライマリケアにおける医師との co-management から考える診療看護師 (NP) の役割の検討	239
	早野 紗由美 社会医療法人 宏潤会 だいどうクリニック 在宅診療部 NP 科	
O1-4	小児看護学実習の学内代替教育の取り組み ～保育園における医療的ケア児の支援を学ぶ意義～	239
	荻原 康子 東京純心大学 看護学部看護学科	
O1-5	“英知を尽くして「生きる」を見る” MISSION 実現に向けたオンライン遠隔研修体制の構築 ～実践報告～	240
	森 あゆみ ソフィア訪問看護ステーション千種	

一般口演 2

教育と人材育成 2

7月23日(土) 9:25～10:05 第5会場「会議室 501」(神戸国際会議場 5F)

座長 中谷 匡登 医療法人匡慈会 伏虎リハビリテーション病院
座長 三浦 靖彦 東京慈恵会医科大学 附属柏病院 総合診療部

02-1	医療法人における新入社員人材育成プログラムについて	241
	古内 克志 医療法人社団ユニメディコ 管理本部人事部 人材開発センター	
02-2	豊田市訪問看護師育成センター受講生が考える自身の成長と今後の課題 ～訪問看護師の未来～	241
	三浦 洋絵 豊田地域訪問看護ステーション	
02-3	在宅看護師の新人教育 -多角的な指導の実践のために-	241
	一柳 悦子 いしが在宅ケアクリニック	
02-4	訪問看護師の往診依頼, 報告に関する調査	241
	山本 健 医療法人社団仁真会 川口ホームケアクリニック	
02-5	都市型在宅クリニックで働く診療看護師 Nurse practitioner (NP) の役割 ～地域のニーズに応じた医師からのタスクシェア～	242
	橋 朋絵 ゆみのハートクリニック	

一般口演 3

在宅医療の質評価 1

7月23日(土) 10:30～11:02 第6会場「会議室 502」(神戸国際会議場 5F)

座長 志真 泰夫 公益財団法人筑波メディカルセンター
座長 草場 鉄周 医療法人北海道家庭医療学センター

03-1	在宅療養者が自宅での生活を継続できなくなった状況についての調査(その1)	243
	村上 典由 株式会社メディヴァ	
03-2	訪問診療を「卒業」された患者の分析	243
	渋谷 美智子 医療法人双樹会 よしき往診クリニック	
03-3	A訪問看護ステーションにおける緊急訪問看護の実態 ～3か月600件の緊急訪問看護実績から～	243
	田中 智之 株式会社 Le-caldo 訪問看護ステーショントータルケア入間ジョンソントウン 看護部 がん看護専門看護師	
03-4	訪問診療の訪問同行者は、在宅医療の質の向上のためにどう取り組むべきか	243
	武藤 英貴 医療法人双樹会 よしき往診クリニック	

一般口演 4

在宅医療の質評価 2

7月23日(土) 11:05～11:37 第6会場「会議室 502」(神戸国際会議場 5F)

座長 三村 卓司 社会医療法人緑社会 金田病院
座長 中島 孝 国立病院機構新潟病院 脳神経内科

04-1	在宅医療の質的量的検討 =目指すべき評価基準とは何か=	244
	笹岡 大史 医療法人忠恕 春日部在宅診療所ウエルネス	
04-2	新型コロナは在宅医療にどのような影響を及ぼしたのか ～公開データを用いた在宅医療の質評価(第2報)～	244
	富岡 慎一 コールメディカルクリニック福岡	
04-3	当院在宅医療支援センターにおけるインシデント・レポートの実態調査	244
	坂田 美貴 豊田地域医療センター 在宅医療支援センター	

- 04-4 連携先との情報共有に関する現状と課題について～訪問看護師が訪問診療のクリニックに求めること～ …… 244
加曾利 良子 つばさクリニック岡山 看護部

一般口演 5

リハビリと介護予防

7月23日(土) 16:25～17:05 第6会場「会議室 502」(神戸国際会議場 5F)

座長 中田 隆文 マリオス小林内科クリニック
座長 横山 和正 順天堂大学医学部 脳神経内科

- 05-1 訪問看護師との事例検討における気づき …… 245
志田 拓也 セコム医療システム株式会社 セコムとしま訪問看護ステーション
- 05-2 虚血性心疾患を有する患者に対して、訪問リハビリテーション時のモニター管理で狭心症と診断し、治療につなげることができた一例 …… 245
細越 巨禎 岩槻南病院 診療科
- 05-3 「四つ這い」を起点とする従来の動作パターンを尊重した動作指導と使用物品の工夫により ADL が改善した 1 例 …… 245
山下 桃花 リハラボ訪問看護リハビリステーション町田 リハビリテーション部
- 05-4 行田市とリハビリ専門職で協働した介護予防の取り組みが始まった～高齢者でもいつの日か支え手になるまちづくりに向けて第 2 報～ …… 245
山口 美和 行田中央総合病院 リハビリテーション科

一般口演 6

ICT・機器 1

7月23日(土) 14:20～15:08 第7会場「会議室 504・505」(神戸国際会議場 5F)

座長 土屋 淳郎 医療法人社団創成会 土屋医院
座長 小林 輝信 合同会社 Sparkle Relation フォーライフ薬局

- 06-1 患者や家族にとって、よりよい在宅での看取りを実践するための ICT の活用法 …… 246
開田 脩平 医療法人みらい みらい在宅クリニック港南 内科
- 06-2 医療介護専用 SNS を用いて地域の心不全患者を支えるーハートケアステーションー …… 246
富山 美由紀 のぞみハートクリニック
- 06-3 A 社のセラピストが所属しない訪問看護事業所とセラピストのリモート環境を活用した事例検討の仕組みづくり …… 246
岩松 毅 セコム医療システム株式会社 セラピスト室
- 06-4 記録の内容を端的に示す「タグ」を付け地域 ICT に共有する作業が多職種に共有すべき情報を峻別して記録する意識づけと記録の構造化を推進する …… 246
沼沢 祥行 松戸市在宅医療・介護連携支援センター / 千葉健愛会あおぞら診療所
- 06-5 福井県における「ふくいケアネット」を利用した在宅医療と病院医療の連携 …… 247
児玉 麻衣子 オレンジホームケアクリニック 在宅部門 / 福井大学医学部附属病院がん診療推進センター
- 06-6 ICT 活用に対する業務改善報告と今後の課題 …… 247
露久保 豊 医療法人あい ハンディクリニック 経営企画室

7月23日(土) 15:10~15:50 第7会場「会議室 504・505」(神戸国際会議場 5F)

座長 小倉 和也 医療法人はちのへファミリークリニック
座長 宮下 勉 医療法人社団鴻鶴会

- 07-1 在宅医療に「デジタル化レントゲン」を設けた病診連携運用
～ ICTを活用した画像診断ネットワークの構築化を図る ～ 248
小野寺 敦 (医) 一心会 初富保健病院
- 07-2 訪問看護師がオンライン診療の補助を行い患者の早期検査・治療につながった症例：Doctor to Patient
with Nurse の実践 248
石川 恵子 ゆみの訪問看護ステーション
- 07-3 在宅診療において末梢型中心静脈カテーテル (Peripherally Inserted Central venous Catheter :
PICC) 挿入という治療オプションを導入した活動報告 248
澁谷 泰介 医療法人社団 ユニメディコ 診療部
- 07-4 当院における在宅医療への携帯型エコー活用の取り組み 248
浜上 知宏 岡山家庭医療センター 奈義ファミリークリニック
- 07-5 在宅療養中の患者さんの安心を見守るための 24GHz ミリ波レーダーを用いた非接触バイタルモニタリン
グ機器の開発研究 249
三浦 智史 国立がん研究センター東病院 緩和医療科

プログラム

一般口演 8

在宅医療の実績・調査研究 1

7月23日(土) 9:00~9:32 第9会場「展示室 B」(神戸国際展示場 1号館 2F)

座長 荒井 康之 生きいき診療所・ゆうき
座長 山路 義生 医療法人社団友志会 野木病院 在宅診療部希望 (のぞみ)

- 08-1 当院の認知症に対する在宅医療の現状 250
佐伯 修二 ホームケアクリニック横浜港南
- 08-2 在宅訪問診療を受けた実患者数とその提供量の推移：レセプト情報・特定検診等情報データベース (NDB)
を用いた全年齢層における全国データの分析 250
次橋 幸男 奈良県立医科大学 公衆衛生学 / 公益財団法人天理よろづ相談所病院 白川分院 在宅世話ど
りセンター
- 08-3 松山市の在宅医療と看取りの現状に関する調査研究 250
永江 美香 一般社団法人松山市医師会 松山市在宅医療支援センター
- 08-4 在宅療養者の死亡数における月変動について 250
菅原 信行 医療法人双樹会よしき往診クリニック

一般口演 9

在宅医療の実績・調査研究 2

7月23日(土) 9:35~9:59 第9会場「展示室 B」(神戸国際展示場 1号館 2F)

座長 土屋 邦洋 いろは在宅ケアクリニック
座長 杉本 由佳 医療法人すぎもと在宅医療クリニック

- 09-1 医療・介護職以外からのメディカルコーディネーターへの転職を促進するために ～ 6名のアンケート調
査の結果から～ 251
藤谷 好紀 医療法人双樹会 よしき往診クリニック
- 09-2 当在宅センターにおける終末期患者の救急搬送に関する検討 251
關 匡彦 天理よろづ相談所病院 白川分院 在宅世話どりセンター
- 09-3 介護老人保健施設に勤務する看護師と介護職の職業性ストレスと燃えつき、抑うつに関連要因の検討 251
古川 智恵 姫路大学 看護学部

一般口演 10

まちづくり 1

7月24日(日) 8:30~9:02 第4会場「会議室 401・402」(神戸国際会議場 4F)

座長 木下 朋雄 和光ホームケアクリニック
座長 浅田 美子 株式会社大和調剤センター

- 010-1 地域包括ケアシステムでの認知症の手引き 252
稲野 聖子 市立池田病院
- 010-2 住み慣れた地域で歩いて通える場づくりプロジェクト ~小さな小さな拠点づくり~ 252
寺門 貴 志村大宮病院 リハビリテーション事業部
- 010-3 ここまでできる神経疾患の在宅医療
—在宅医主導の診断、ケア、看取り、病理解剖— 252
融 衆太 新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科
- 010-4 将来を見すえた地域づくり 252
穂森 健太郎 社会福祉法人山陵会 特別養護老人ホームフラワーホーム

一般口演 11

まちづくり 2

7月24日(日) 9:15~9:47 第4会場「会議室 401・402」(神戸国際会議場 4F)

座長 串田 一樹 昭和薬科大学
座長 荒金 英樹 愛生会山科病院 外科

- 011-1 地域住民を「チーム」に~医療・介護専門職と地域諸団体とつくる協働ネットワーク~ 253
山脇 健佑 メディケア訪問看護リハビリステーション福岡早良
- 011-2 専門職の意識改革と、住民と専門職の接点づくりを同時並行で行うことによってまちづくりに取り組んでいる事例 253
清水 啓介 公益財団法人伊豆保健医療センター 総合診療科・未来プロジェクト室
- 011-3 医師を中心とした多職種連携による保育所等訪問支援について 253
池見 里恵子 医療法人社団ユニメディコ 小児事業部
- 011-4 大崎市在宅医療・介護連携支援センターの相談支援から見えた課題
~転院時における患者や家族の不安に寄り添うサポート体制の構築に向けて~ 253
鈴木 真紀子 大崎市医師会大崎市在宅医療・介護連携支援センター

一般口演 12

病院と在宅医療の連携 1

7月24日(日) 10:10~10:42 第6会場「会議室 502」(神戸国際会議場 5F)

座長 飯森 俊介 医療法人いろはいろはホームケアクリニック
座長 月永 洋介 医療法人賛永会 さつきホームクリニック

- 012-1 集患を目的とした広報活動に対する検証報告 254
松本 拓 医療法人社団絆渡会 仙川の杜デンタルクリニック 管理部
- 012-2 がん専門病院における地域医療連携室の取り組み 254
平岡 久美 四国がんセンター 地域医療連携室
- 012-3 リハビリテーション科有床診療所:「病院から」と「在宅から」の入院の転帰の違いからみる地域・在宅からのニーズ 254
和田 真一 森山リハビリテーションクリニック リハビリテーション科 / 昭和大学医学部リハビリテーション医学講座
- 012-4 在宅医と基幹病院の連携により地域の通院困難となった高齢腹膜透析患者が透析継続可能となった当院の取り組み 254
緒方 彩人 訪問診療わっしょいクリニック

一般口演 13

病院と在宅医療の連携 2

7月24日(日) 10:45~11:17 第6会場「会議室 502」(神戸国際会議場 5F)

座長 岡田 孝弘 オカダ外科医院
座長 小松 裕和 佐久総合病院 地域ケア科

- 013-1 Destination therapy として補助人工心臓植込術を受けた患者の在宅終末期ケア 255
淀川 由紀 佐久総合病院訪問看護ステーション 地域ケア科
- 013-2 経口抗がん剤で治療をうける患者への関わりを通した、病院看護師と訪問看護師との連携と今後の課題 255
堀田 恵美子 横浜医療センター 看護部
- 013-3 治療に長期を要する化膿性脊椎炎の病診連携 255
仲田 公彦 東大阪病院 整形外科
- 013-4 ポンペ病の利用者・家族の治療継続への支援
~自宅でのアルグルコシダーゼアルファ投与の実施~ 255
宇田 ゆかり 株式会社 GCI 訪問看護ステーション芍薬

一般口演 14

薬剤師の活躍

7月24日(日) 11:20~12:00 第6会場「会議室 502」(神戸国際会議場 5F)

座長 小林 篤史 株式会社佳林 カリン薬局
座長 坂本 岳志 あげぼの薬局メディカル店

- 014-1 副作用の早期発見とその改善のため、看護・介護専門職への情報連携の取り組みについて 256
武山 和也 L.H.W ファーマシー 岸里店
- 014-2 薬局における在宅服薬支援の現状と今後の課題 256
上野 雅広 光陽台薬局 調剤薬局
- 014-3 心不全患者の訪問薬剤管理指導の振り返り 256
清水 里恵 株式会社サンテ ひまわり調剤薬局
- 014-4 社内無菌室共同利用への取り組み 256
中村 三智子 日本調剤株式会社 在宅医療部
- 014-5 注射薬の供給にかかわる薬剤師・薬局の課題と期待 257
串田 一樹 昭和薬科大学

一般口演 15

在宅医療の事務職の役割、運営・経営 1

7月24日(日) 13:50~14:30 第6会場「会議室 502」(神戸国際会議場 5F)

座長 高瀬 義昌 医療法人社団至高会 たかせクリニック
座長 中川 誠二 医療法人コムニカ ホームケアクリニック横浜港南

- 015-1 「影光の架橋」となれ 258
桑原 直行 国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部
- 015-2 医療スタッフが専門性を活かすためのマネジメント —拠点マネージャーの役割— 258
村岡 信典 のぞみハートクリニック
- 015-3 わが診療所の事務職について 258
西村 嘉裕 いばらき診療所みと 診療部
- 015-4 <まごころ在宅連携会>の5年間の軌跡と今後の展望について 258
若塚 彩 医療法人社団まごころ
- 015-5 事業承継による有床診療所の活用における諸問題 259
最上 希一郎 山王胃腸科

一般口演 16

在宅医療の事務職の役割、運営・経営 2

7月24日(日) 14:35～15:15 第6会場「会議室 502」(神戸国際会議場 5F)

座長 次橋 幸男 公益財団法人天理よろづ相談所 法人企画準備室/白川分院在宅世話どりセンター
座長 宮下 勉 医療法人社団鴻鵠会

- | | | |
|-------|--|-----|
| 016-1 | 5人の常勤医師と750人の在宅患者のモデル= AIU (アイユー) モデル | 260 |
| | 野末 睦 医療法人あい友会 あい太田クリニック | |
| 016-2 | 在宅療養支援診療所における医療ソーシャルワーカーの機能・役割に関する研究
～個人面接・半構造化面接インタビューをもとにした質的データ分析法を活用して～ | 260 |
| | 松岡 邦彦 茶屋町在宅診療所 事業部 (地域連携・相談担当) | |
| 016-3 | 在宅医療における「医法連携」とその必要性に関する検討 | 260 |
| | 菅井 敏行 広島大学大学院 医系科学研究科 地域保健看護開発学 | |
| 016-4 | 在宅療養支援診療所における疾患構成に応じた運用の課題 | 260 |
| | 坂本 理佳 医療法人おひさま会 おひさまクリニック西宮 | |
| 016-5 | 開業から5年間のインシデントアクシデントレポートの結果考察 (歯科訪問診療において) | 261 |
| | 原田 俊夫 医療法人社団絆渡会 管理部 | |

一般口演 17

地域緩和ケア 1

7月24日(日) 11:00～11:32 第7会場「会議室 504・505」(神戸国際会議場 5F)

座長 斉藤 洋司 島根大学医学部麻酔科学
座長 太田 緑 一般社団法人緑の杜 みどりの風訪問看護ステーション

- | | | |
|-------|---|-----|
| 017-1 | がん疼痛に対するメサドン内服治療の実態、障壁：日本在宅医療連合学会認定専門医対象全国質問紙調査 | 262 |
| | 松本 禎久 国立がん研究センター東病院 緩和医療科 / がん研究会有明病院 緩和治療科 / 順天堂大学
大学院医学研究科 緩和医療学研究室 | |
| 017-2 | 自宅で看取りを行った末期がん患者における在宅酸素の使用状況 | 262 |
| | 郡山 晴喜 ホームクリニックみまた | |
| 017-3 | 地域緩和ケアにおける地域の訪問看護ステーションの実績
—緩和ケア認定看護師と看視連携を実践した在宅看取りの成果— | 262 |
| | 藤田 洋美 とちぎ訪問看護ステーションくろばね 訪問看護 | |
| 017-4 | 在宅療養中に労作時呼吸困難など心不全と思われた末期がん患者の血清アルブミン (ALB) 値とN末端
プロB型ナトリウム利尿ペプチド (NT-proBNP) 値の検討 | 262 |
| | 渡辺 邦彦 在宅ほすぴす 緩和ケア内科 | |

一般口演 18

地域緩和ケア 2

7月24日(日) 11:35～12:15 第7会場「会議室 504・505」(神戸国際会議場 5F)

座長 渡辺 剛 渡辺緩和ケア・在宅クリニック
座長 片見 明美 株式会社ヴィーナス 医療統括マネージャー

- | | | |
|-------|---|-----|
| 018-1 | COVID-19 感染症下での、急性期運用の緩和ケア病棟の患者動向 | 263 |
| | 吉村 純彦 国立病院機構 姫路医療センター 緩和ケアセンター | |
| 018-2 | T 県県北部がん診療連携拠点病院から在宅医療に移行したがん終末期患者の看取りの実態 | 263 |
| | 水野 恵美 那須赤十字病院 地域医療福祉連携課 がん相談支援センター | |
| 018-3 | がん終末期患者の苦痛緩和における在宅オピオイド持続皮下注射の有効性 | 263 |
| | 平本 秀二 ピースホームケアクリニック 内科・腫瘍内科・緩和ケア内科 | |

- 018-4 基礎疾患ごとの在宅看取りにおける医師と看護師の役割の違い 263
片見 明美 株式会社ヴィーナス 訪問看護ヴィーナス高根沢 / 桜美林大学大学院 老年学研究科 老年学専攻 博士前期課程
- 018-5 ～ブーケの処方箋～
患者さんのお誕生日を共に祝う花束ギフトの効果 264
原 涼佳 さくらライフ市川クリニック

一般口演 19

ACP と意思決定支援 1

7月24日(日) 13:50～14:12 第7会場「会議室 504・505」(神戸国際会議場 5F)

座長 山口 佳之 川崎医科大学 臨床腫瘍学
座長 今永 光彦 奏診療所

- 019-1 人生の最終段階の医療とケアに関する横浜市の取組～もしも手帳の三段活用～ 265
日下部 明彦 横浜市立大学医学部医学科 総合診療医学
- 019-2 世田谷区「在宅療養・ACP ガイドブック」による医療介護従事者・市民への啓発と在宅医療現場での実践 265
五味 一英 桜新町アーバンクリニック 在宅医療部
- 019-3 オープンダイアログ等の「対話の力」を重視した訪問診療における実践症例～実践前後のGAF尺度を活用した心身機能の推移比較について～ 265
松岡 邦彦 茶屋町在宅診療所 事業部(地域連携・相談担当)
- 019-4 孤独死を未然に防ぐためにわたしたちにできること 265
岩元 智子 社会福祉法人山陵会 ふもとの家

一般口演 20

ACP と意思決定支援 2

7月24日(日) 14:35～15:07 第7会場「会議室 504・505」(神戸国際会議場 5F)

座長 満岡 聡 医療法人満岡内科クリニック
座長 高砂 裕子 (一社)南区医師会 在宅事業部 南区医師会訪問看護ステーション

- 020-1 日本初！在支診が企画・運営・出演する訪問診療短編映画「ルリエ・海へ」～その効果と発展性～ 266
八森 淳 医療法人 MoLead つながるクリニック
- 020-2 在宅療養 ALS 患者における意思決定選択の変遷と転帰 266
永井 康徳 医療法人ゆうの森 たんぼぼクリニック 理事長
- 020-3 訪問診療でのオープンダイアログ活用 266
戸倉 直実 東京勤労者医療会東葛病院附属診療所 内科
- 020-4 医療と介護の終活講座 ～「良く逝くこと」を考えて残りの人生を「良く生きる」ために～ 266
村上 万里子 行田市在宅医療・介護連携支援センター

一般口演 21

小児在宅医療

7月24日(日) 15:10～16:06 第7会場「会議室 504・505」(神戸国際会議場 5F)

座長 中村 幸伸 医療法人つばさ つばさクリニック
座長 海老原 毅 横浜療育医療センター 薬剤課

- 021-1 地方中核病院での小児がん患者在宅看取りの経験～こどもと家族の大切な時間のためにいかにチームを運用するか～ 267
奥村 能城 市立福知山市民病院 在宅ケアチーム / 市立福知山市民病院 救命救急センター / 市立福知山市民病院 小児科

021-2	進行する呼吸不全に対し ACP を重ね、呼吸不全の緩和に苦慮しながらも在宅看取りに至った脳性麻痺の一例	267
	雨宮 馨 さいわいこどもクリニック 在宅診療部 / 島田療育センターはちおうじ神経小児科	
021-3	地域で育つこと、日々のお出かけが災害対策になる ～小児専門訪問看護ステーションの小さな取り組み～	267
	松丸 実奈 NPO 法人にこり	
021-4	医療的ケアを必要とする療養児をもつ母親の在宅レスパイトサービスに対する認識	267
	横田 益美 せたがや訪問看護ステーション	
021-5	小児在宅歯科医療における歯科衛生士の実態調査	268
	吉本 美枝 小児在宅歯科医療研究会 / 大阪歯科大学大学院医療保健学研究所 / 公益社団法人京都府歯科衛生士会	
021-6	在宅重症心身障がい児（者）の親亡き後の生活移行の概念化 - 当事者・支援者の立場から -	268
	久保 恭子 東京医療保健大学 立川看護学部	
021-7	小児脳腫瘍（びまん性橋膠腫（DIPG））27 例の在宅緩和ケアの経験	268
	前田 浩利 医療法人財団はるたか会	

一般口演 22

コロナ禍 1

7月24日（日）8：30～9：10 第8会場「展示室 A」（神戸国際展示場 1 号館 2F）

座長 武知由佳子 医療法人社団愛友会 いきいきクリニック 呼吸器科
座長 猪原 健 医療法人社団敬崇会 猪原歯科・リハビリテーション科

022-1	現場の声が今日と明日の地域を作る ～多職種協働が生んだ新型コロナウイルス感染症対応策とその成果～	269
	小林 舞見 京都市紫竹地域包括支援センター	
022-2	コロナ禍で気付いた、当院組織の柔軟性の根源～多様性に富んだスタッフと組織作り～	269
	石黒 剛 医療法人白青会 いしぐろ在宅診療所	
022-3	新型コロナ陽性自宅療養者を共に支える ～豊島区看護師会電話健康観察の取り組み～	269
	村崎 佳代子 豊島区看護師会	
022-4	名古屋市におけるコロナ患者への在宅医の取り組み：自宅から軽症者等療養宿泊施設まで	269
	杉本 由佳 すぎもと在宅医療クリニック	
022-5	介護施設で発生した COVID-19 クラスタにおける感染対応	270
	柳楽 知義 さくらクリニック 医局	

一般口演 23

コロナ禍 2

7月24日（日）9：15～9：55 第8会場「展示室 A」（神戸国際展示場 1 号館 2F）

座長 山内 克哉 浜松医科大学 リハビリテーション科
座長 新屋 洋平 医療法人以和貴会 西崎病院 総合診療科

023-1	コロナ禍の過剰反応で、在宅訪問サービス休止が頻発したケースについて - 視覚アナログ尺度 VAS を用いた介護負担等の報告 -	271
	今村 太泉 医療法人坂梨ハート会 坂梨ハートクリニック 在宅医療部	
023-2	新型コロナウイルス感染症回復者を病院救急車にて東京都墨田区内病院間搬送活動報告	271
	三浦 邦久 医療法人伯鳳会東京曳舟病院 救急科	
023-3	本院在宅医療において新型コロナウイルス感染者に対する対応	271
	辻川 昭仁 医療法人社団 仁真会 辻川ホームクリニック 医師	
023-4	新型コロナウイルス感染症第6波における兵庫県内での KISA2 隊兵庫活動報告	271
	徳田 嘉仁 双樹会守上クリニック・よしき往診クリニック 在宅診療部	

023-5	疾患の有無に着目したコロナ禍の生活への影響に関する探索的研究	272
	板谷 智也 金沢大学 医薬保健学域	

一般口演 24

コロナ禍 3

7月24日(日) 10:00～10:32 第8会場「展示室A」(神戸国際展示場1号館2F)

座長 宮本 雄気 医療法人双樹会 よしき往診クリニック・京都府立医科大学 救急医療学教室
座長 川口 篤也 函館稜北病院 総合診療科

024-1	COVID-19 が在宅医療従事者に及ぼす物理的・心理的問題点の現状把握とその変化 —今後の在宅医療支援に向けて—	273
	飯田 英和 祐ホームクリニック	
024-2	がん死亡の自宅死亡割合と COVID-19 感染者数の関連	273
	今永 光彦 奏診療所	
024-3	コロナ在宅療養者に対する看護師の想い KISA2 隊 (Kyoto intensive area care unit for SARS-Cov2 対策本部) を通じて	273
	山田 寿美 医療法人双樹会よしき往診クリニック	
024-4	名古屋市名東区の新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援活動における訪問看護ステーション連絡会の 役割	273
	小林 恵子 株式会社在宅看護センター愛 訪問看護ステーション愛	

一般口演 25

災害

7月24日(日) 10:35～11:23 第8会場「展示室A」(神戸国際展示場1号館2F)

座長 清水 政克 医療法人社団清水メディカルクリニック
座長 岡山 容子 医療法人みのり会おかやま在宅クリニック

025-1	災害に負けない体制づくり ～患者用 防災対策マニュアル作成の取り組み～	274
	中村 幸伸 つばさクリニック	
025-2	非常電源の選定に必要な情報収集と共有 ～自助の補強を目的とした情報蓄積の一步として～	274
	輪ノ内 新 リハビリ訪問看護ステーションまえあし	
025-3	茨城県内に居住する在宅療養者の自然災害に対する安全対策と備蓄状況の実態調査	274
	井川 洋子 総合病院 土浦協同病院 看護部	
025-4	在宅療養支援診療所における災害に対する取り組み Part 1	274
	中村 和親 いしが在宅ケアクリニック	
025-5	南海トラフ地震により津波が想定される地域における津波避難タワーの避難環境と地理的分布	275
	中井 寿雄 金沢医科大学 看護学部	
025-6	災害時の訪問看護ステーションの相互支援のあり方の検討 —療養者への個別ケアの持続のために—	275
	畑 吉節未 岐阜保健大学大学院 看護学研究科	

一般口演 26

地域での看取り

7月24日(日) 10:20～11:16 第9会場「展示室B」(神戸国際展示場1号館2F)

座長 上村久美子 医療法人橘会 居宅介護支援事業所万年青
座長 鈴木 裕介 名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター

026-1	へき地診療所での在宅看取り～ゼロからのスタート～	276
	金子 稔 長野原町へき地診療所 所長	

026-2	住宅型施設における看取り「安心の提供」と多職種連携	276
	知久 淳子 株式会社ヴィーナス グランツこむぎ	
026-3	在宅医療における看取りパンフレット使用した活動報告	276
	黒澤 愛実 医療法人社団ユニメディコ サンライズファミリークリニック 看護部	
026-4	病院主治医と協働した在宅看取りの実践報告	276
	熊木 綾子 独立行政法人国立病院機構新潟病院 訪問看護ステーションゆきさくら	
026-5	施設での看取りケアのこれから	277
	徳永 明美 社会福祉法人山陵会 特別養護老人ホームフラワーホーム	
026-6	多職種協働による地域看取りケアの振り返りを促す技術—訪問看護ステーション管理者の語りから—	277
	岡田 麻里 香川県立保健医療大学 保健医療学部看護学科	
026-7	終末期における「終末期せん妄」と「お迎え現象」についての考察	277
	朴 明子 園田学園女子大学 人間健康学部人間看護学科	

一般口演 27

訪問栄養士の活躍

7月24日(日) 11:20～12:00 第9会場「展示室B」(神戸国際展示場1号館2F)

座長 川島由起子 横浜市青葉区医師会 認定栄養ケア・ステーション
座長 木村 年秀 まんのう町国民健康保険造田歯科診療所

027-1	在宅医療を受ける日本人の適正な栄養介入を実現するために、完全人工栄養の患者を対象として推定エネルギー必要量を把握する(活動報告)	278
	鈴木 里彩 松戸市在宅医療・介護連携支援センター / 千葉健愛会あおぞら診療所 / 東京医科歯科大学 総合診療医学分野	
027-2	居住系施設における訪問栄養指導の活動報告	278
	渡部 弥生 医療法人社団 ユニメディコ	
027-3	新型コロナ禍における令和3年度保健事業と介護予防の一体的事業「東郷町栄養パトロール」対象者の健康区別特性と低栄養リスク要因の検討	278
	奥村 圭子 地域ケアステーション はらぺこスパイス 認定栄養ケア・ステーション / 認定栄養ケア・ステーション やまびこ / 名古屋学芸大学健康・栄養研究所 / 長野県立大学大学院 健康栄養科学研究科	
027-4	在宅訪問管理栄養士が在籍したことによる多職種の意識の変化～かかりつけ栄養士を目指して～	278
	伊藤 里衣子 医療法人社団まごころ 四街道まごころクリニック	
027-5	訪問栄養指導件数増加に向けた当院の取り組み	279
	藤田 みどり いしが在宅ケアクリニック	

デジタルポスターディスカッション 1-1

在宅の質評価、運営、連携、まちづくり、コロナ禍

7月23日(土) 18:20～18:44 第1会場「メインホール」(神戸国際会議場1F)

座長 藤谷 直明 社会医療法人関愛会 よつばファミリークリニック
座長 吉田 千文 常磐大学看護学部

DP1-1-1	多職種とともに看取りまでできるケアマネジャーを育てる	280
	山本 千尋 医療法人社団ささえる医療研究所 居宅介護支援むらかみさん	
DP1-1-2	在宅でPopeye signとポータブルエコーで診断した上腕二頭筋腱断裂の1例	280
	長野 広之 医療法人双樹会 よしき往診クリニック	
DP1-1-3	片付けるべきか、片付けないべきか。それが問題だ。	280
	田中 裕子 医療法人双樹会 よしき往診クリニック	
DP1-1-4	“One Plate”配膳により、軽度注意障害にみられる食事摂取量の改善をきたしたアルツハイマー型認知症の1症例	280
	野村 修三 静岡ホームクリニック	

DP1-1-5	情報の手渡しからつながりを作る	281
	井上 まや 医療法人社団せせらぎ せせらぎ在宅クリニック	
DP1-1-6	地域活動チーム「まちまご」設立とその活動について	281
	黒澤 亮 医療法人社団まごころ まごころ訪問看護ステーション	
DP1-1-7	地域包括ケアシステムにおける「協議体」の実態と課題に関する研究	281
	内田 智久 医療法人あい友会 あい駒形クリニック 事務部	
DP1-1-8	居宅介護支援事業所ハンドブック分析に基づく事業所の活動・力量の見える化	281
	三浦 祐子 松戸市在宅医療・介護連携支援センター	
DP1-1-9	地方の基幹的総合病院における訪問診療チームの活動報告	282
	小田 雅之 市立福知山市民病院 在宅ケアチーム / 総合内科	
DP1-1-10	チームで支える訪問診療を目指して 訪問同行看護師の役割を考える	282
	今村 高暢 愛媛生協病院 在宅科	
DP1-1-11	在宅医療現場の医薬品 / 医療材料管理と5S 活動の推進	282
	峯 昌啓 在宅医療 おひさまクリニック	
DP1-1-12	家族介護者の介護継続意向に関連する要因—訪問診療と外来診療別の検討	282
	中山 元 医療法人サンズ あさのクリニック / 筑波大学医学医療系 地域医療教育学	

デジタルポスターディスカッション 1-2 在宅の質評価、運営、連携、まちづくり、コロナ禍

7月23日(土) 18:44～19:04 第1会場「メインホール」(神戸国際会議場 1F)

座長 引野 雅子 医療法人社団ほくれあ会 ひきのクリニック
座長 久島 和洋 医療法人鳥伝白川会 ドクターゴン鎌倉診療所

DP1-2-1	新型コロナウイルス感染症の影響による訪問施設の歯科訪問診療中断について ～同系列施設における類似症例の比較～	283
	船山 高明 医療法人顕樹会本田歯科クリニック 訪問診療部	
DP1-2-2	としま在宅感染対策チームの取り組み～地域で培った多職種連携の実践～	283
	中辻 康博 公益社団法人豊島区医師会 豊島区在宅医療相談窓口・多職種連携拠点	
DP1-2-3	コロナ禍での小児の訪問診療に対する影響に関するアンケート調査	283
	中村 知夫 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター 在宅医療支援室	
DP1-2-4	コロナ禍における豊島区薬剤師会の活動	283
	江村 公良 豊島区薬剤師会 地域医療部	
DP1-2-5	在宅支援診療所における“with コロナ”に向けての活動記録	284
	茨木 利彦 寺田・茨木ホームクリニック	
DP1-2-6	コロナ第6波における当院往診センターの自宅療養者への取り組み	284
	清洲 早紀 公益社団法人京都保健会吉祥院病院	
DP1-2-7	当院の在宅訪問診療患者におけるCOVID-19のワクチン接種の実態とその課題～法人内や地域での連携も含めて～	284
	北原 孝夫 香川医療生活協同組合 高松協同病院 リハビリテーション科	
DP1-2-8	新型コロナウイルス感染拡大における様々な地域医療ニーズに対する取り組みの実例	284
	山田 翔太 桜新町アーバンクリニック 在宅医療部	
DP1-2-9	進行性核上性麻痺 (PSP) と閉塞性睡眠時無呼吸症 (OSA) に伴う気道狭窄症状への対応に苦慮した一例	285
	吉本 明子 ゆみのハートクリニック	
DP1-2-10	ケアマネジャーがソーシャルワーカーとして業務を行った成果について	285
	久保 幸枝 太田医院 訪問診療部	

デジタルポスターディスカッション 1-3

在宅の質評価、運営、連携、まちづくり、コロナ禍

7月23日(土) 19:04～19:28 第1会場「メインホール」(神戸国際会議場 1F)

座長 廣橋 猛 永寿総合病院 がん診療支援・緩和ケアセンター
座長 安池 純士 医療法人社団悠翔会 ケアタウン小平クリニック

DP1-3-1	入退院支援システムの再構築 ～スクリーニングシート導入による患者の意向・状況を踏まえた多職種連携～	285
	堀内 晃代 神奈川県立循環器呼吸器病センター	
DP1-3-2	コロナ禍での病診連携&看看連携 ～「お受けします！明日帰りましょう！」～	285
	蔵重 真里 ひのでクリニック	
DP1-3-3	演題取り下げ	286
DP1-3-4	理想的病診連携による肺移植後患者の在宅緩和ケア	286
	川村 知裕 さくらホームケアクリニック / 淀川キリスト教病院 緩和医療内科	
DP1-3-5	短期の在宅導入を行い家族が看取りを受け入れた若年重症頭部外傷の一例	286
	間所 俊介 順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科	
DP1-3-6	重症心身障害児(大島分類1)に訪問診療を実施する中で発見した口腔内のエプーリスに対して病院と連携し対応した症例	286
	大久保 明 大久保歯科医院 歯科	
DP1-3-7	オンラインカンファレンスを利用した病診連携と在宅医療支援 ～医療依存度の高い末期患者が住み慣れた家で過ごすために～	287
	松岡 恵利香 医療法人社団そよかぜ そよかぜ診療所	
DP1-3-8	2次医療圏単位で取り組む、地域ケア(日常の療養支援)と地域の中核病院とを連結する包括的入退院支援の取り組みー愛知県在宅医療介護連携推進事業の更なる展開ー	287
	後藤 友子 国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部	
DP1-3-9	がん患者、家族の揺らぐ意思決定に寄り添う看護師の役割 ～思いをくみとる多職種連携と在宅へのバトン～	287
	五十嵐 幸江 国際医療福祉大学熱海病院 看護部	
DP1-3-10	薬剤師として関わった在宅での抗がん剤治療と医療材料の問題点について	287
	川崎 博行 木田らいふ薬局	
DP1-3-11	不登校児童への在宅訪問リハビリの活動報告	288
	小池 友香 医療法人社団ユニメディコ	
DP1-3-12	在宅でムコ多糖症ⅣA型の酵素補充療法を治療できた一例	288
	宮里 恵音 在宅療養支援クリニックここはる	

デジタルポスターディスカッション 2-1

在宅医療における ACP、緩和、看取り

7月23日(土) 18:20～18:44 第2会場「国際会議室 301」(神戸国際会議場 3F)

座長 富沢 道俊 富沢産業株式会社 とみざわ薬局市原店
座長 遠矢純一郎 医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック

DP2-1-1	癌終末期の癌性胸水貯留に対する在宅胸腔持続ドレナージの有効性	289
	飯嶋 将史 医療法人社団和啓会 メディックスクリニック溝の口 在宅医療推進部 / 医療法人社団和啓会 統括本部	
DP2-1-2	当院在宅医療センターにおける看取りパンフレットの使用状況調査と見直し	289
	永津 有理 博愛会 頼田病院 在宅医療センター	
DP2-1-3	ターミナルケア中に佐賀県佐賀市から愛知県名古屋市中に搬送し主治医交代した一例	289
	矢ヶ部 伸也 医療法人純伸会 矢ヶ部医院	
DP2-1-4	高齢者腎不全患者における血液透析中断後の在宅看取りの1例	289
	太田 俊輔 太田医院	

DP2-1-5	地域の褥瘡ケアの1事例～特定認定看護師としての課題と展望～	290
	鈴木 真由美 茨城県立中央病院 看護局	
DP2-1-6	「自宅看取り」と「病理解剖」終末期悪性腫瘍患者の希望を地域の多職種で連携し実現した1症例	290
	佐野 広美 埼玉協同病院 緩和ケア内科	
DP2-1-7	医療用麻薬を必要とする神経障害性疼痛を伴うI型糖尿病の症例	290
	栃村 久美 訪問看護ヴィーナス高根沢	
DP2-1-8	デスクカンファレンスによる多職種の相互理解の現状と課題	290
	池上 厚子 埼玉医科大学総合医療センター 訪問看護ステーション	
DP2-1-9	COVID-19は緩和ケア病棟から自宅退院した患者にどのような影響を及ぼしたか～単一施設後方視的研究	291
	寺林 徹 日本バプテスト病院 ホスピス	
DP2-1-10	高齢者における帯状疱疹後神経痛に対するオキシドロン使用法に関する考察	291
	瀧本 しおり 特定医療法人財団健和会 みさとホームケア診療所 内科	
DP2-1-11	多系統萎縮症患者に意思伝達装置を用いてコミュニケーション手段を図った一事例	291
	菊池 春奈 桜新町アーバンクリニック 在宅医療部	
DP2-1-12	演題取り下げ	291

デジタルポスターディスカッション 2-2

在宅医療における ACP、緩和、看取り

7月23日(土) 18:44～19:08 第2会場「国際会議室 301」(神戸国際会議場 3F)

座長 野村 秀樹 医療法人あいち診療会 あいち診療所野並 内科
座長 矢尾知恵子 むさしの丘ファミリークリニック

DP2-2-1	世田谷区「在宅療養・ACPガイドブック」の制作と普及啓発活動	292
	神野 真実 株式会社メディヴァ コンサルティング事業部	
DP2-2-2	「認知症でも住み慣れた家で生活したい」 - 在宅生活を維持するためには何が必要か事例を通して考えたこと -	292
	灰瀬 美和 医療法人坂梨ハート会 坂梨ハートクリニック 在宅医療部	
DP2-2-3	脳血管障害後遺症患者に生じた酸化マグネシウムによる接触性口内炎が疑われた1例	292
	大久保 正彦 埼玉医科大学医学部 口腔外科学教室 / かみむら歯科矯正歯科クリニック	
DP2-2-4	多職種カンファレンスを開催し治療方針を共有することで、右大腿骨骨幹部骨折後 再度車椅子座位可能、通所利用可能とまでなった例の経験	292
	山田 智 中野共立病院 リハビリテーション科	
DP2-2-5	在宅認知症糖尿病患者の低血糖	293
	岡田 拓也 岡田医院 在宅医療部	
DP2-2-6	当院が関わり ACP を積み重ね 9年間の闘病ののち生涯を終えた 60代男性 ALS の1例	293
	浜上 知宏 岡山家庭医療センター 奈義ファミリークリニック	
DP2-2-7	多職種協働のもと自宅で思うように夫婦で過ごした前立腺がん終末期患者の意思決定支援～自宅で夫婦で過ごした A 氏の生きたい気持ちを支える～	293
	荻原 修代 株式会社 GCI 訪問看護ステーション芍薬	
DP2-2-8	答えのない「答え」を模索し支える～認知症患者の在宅看取りを振り返って～	293
	高木 理江 桜新町アーバンクリニック ナースケア・ステーション	
DP2-2-9	言語聴覚士の職域から考える、患者への話題提供について～エンド・オブ・ライフケアを ALS 患者と共に考える関わりを通して～	294
	宮阪 美穂 医療法人社団まごころ まごころ訪問看護ステーション / 四街道まごころクリニック	
DP2-2-10	日本人の看取りに関連した文化的考察～終末期と家族ケア～	294
	日吉 和子 大和大学 医療保健学科	
DP2-2-11	在宅で行う重度褥瘡患者に対する体圧測定と免荷の工夫	294
	江田 茜 TOWN 訪問診療所 城南院 看護部	

DP2-2-12	在宅での褥瘡治療における多職種連携の重要性と身近な資源の有効活用を認めた一例	294
	加賀谷 富子 医療法人社団心愛会 TOWN 訪問診療所城南 看護部	

デジタルポスターディスカッション 2-3

在宅医療における ACP、緩和、看取り

7月23日(土) 19:08～19:32 第2会場「国際会議室 301」(神戸国際会議場 3F)

座長 藤田 祝子 医療法人ふじた医院
座長 臼井 啓子 合同会社 オフィスK

DP2-3-1	非がん疾患療養者の在宅看取りにおける意思確認とケアチームの合意形成の実態	295
	片山 陽子 香川県立保健医療大学	
DP2-3-2	在宅における慢性呼吸不全の緩和ケアの実際 呼吸リハビリの立場から	295
	北野 桂介 聖隷訪問看護ステーション千本 リハビリテーション	
DP2-3-3	入退院を繰り返す患者の在宅看取り	295
	工藤 友裕 坂梨ハートクリニック 看護部	
DP2-3-4	カテコラミン依存性心不全終末期患者の独居での看取りの経験	295
	中村 明澄 医療法人社団澄乃会 向日葵クリニック	
DP2-3-5	旅行を生きがいとした在宅独居パーキンソン病患者の主観的幸福感の変化 ～コロナ禍の影響を受けた症例～	296
	鈴木 洋平 合同会社 P-BEANS 旅行サービスじゅぷと	
DP2-3-6	病院から「家で死にたい、薬は飲まない」と、治療途中に抜け出したまま退院となった精神疾患のある一人暮らし高齢者の意向に沿った在宅支援	296
	近藤 芳江 APLE 株式会社 居宅介護支援ハートサービス	
DP2-3-7	医療介護サービス介入に対する拒否が強かった肺癌終末期の独居高齢者の一例	296
	中村 幸生 医療法人優幸会 中村クリニック 在宅医療部	
DP2-3-8	希望に沿う最期を迎えていただくために	296
	高本 直 坂梨ハートクリニック 看護部	
DP2-3-9	在宅療養中の超高齢患者における「食べること」への支援	297
	渡邊 由布子 医療法人はなまる はなまるクリニック	
DP2-3-10	印象に残った看取り	297
	甲斐谷 徹彰 やまと在宅診療所 登米	
DP2-3-11	心不全末期患者の在宅看取りにおける家族の不安への看護ケアに関する一考察	297
	岡田 悦代 なな一訪問看護ステーション	
DP2-3-12	訪問リハビリテーション、訪問看護師および訪問管理栄養士による多職種連携加療について —頸髄損傷患者における重度褥瘡に対する1症例—	297
	小林 宣博 医療法人社団ユニメディオ	

デジタルポスターディスカッション 3-1

多職種の活動、在宅医療の人材・工夫

7月23日(土) 18:20～18:38 第3会場「レセプションホール」(神戸国際会議場 3F)

座長 山本 憲康 やまもと内科クリニック
座長 豊田 義貞 芙蓉堂薬局 在宅サポート店

DP3-1-1	バンコマイシンのTDMを在宅医療で実施した症例報告	298
	能勢 悠介 医療法人双樹会 よしき往診クリニック	
DP3-1-2	腎機能低下・糖尿病の高齢患者の処方適正化に関与した一例	298
	堀光 愛子 日本調剤 在宅医療部	
DP3-1-3	食道癌術後の後期ダンピング症候群で出現する低血糖を予防するための取り組み	298
	柳澤 克哉 医療法人双樹会よしき往診クリニック	

DP3-1-4	在宅での多職種介入により下肢切断を回避できた症例	298
	鈴木 美奈子 いしが在宅ケアクリニック	
DP3-1-5	在宅医療現場におけるポケットエコー (Vscan) の使用経験	299
	岡田 豊 つばさクリニック	
DP3-1-6	在宅診療における末梢留置型中心静脈カテーテル (Peripherally Inserted Central venous Catheter : PICC) 挿入の工夫とポイント	299
	石渡 智子 医療法人社団 ユニメディコ 看護部	
DP3-1-7	施設で PICC(Peripherally Inserted Central venous Catheter) を挿入し頻回の輸血療法を施行した 1 例	299
	渡邊 成美 医療法人社団 ユニメディコ 看護部	
DP3-1-8	メディカルアシスタント制度導入による医師・看護師の業務軽減について ～アンケート調査でみる業務評価～	299
	斎藤 麻斗香 いしが在宅ケアクリニック	
DP3-1-9	在宅医はどのように処方薬を評価し、どのような処方行動をとるのか?	300
	舛本 祥一 筑波大学医学医療系 / つくばセントラル病院 総合診療科	

デジタルポスターディスカッション 3-2

多職種の活動、在宅医療の人材・工夫

7月23日(土) 18:38～18:48 第3会場「レセプションホール」(神戸国際会議場 3F)

座長 外山 哲也 奏診療所
座長 廣瀬 弥幸 医療法人陽蘭会 広瀬クリニック 腎臓内科/人工透析外科

DP3-2-1	COPD 患者の在宅支援 行動変容を目指したリハビリテーション	300
	小泉 善久 サポートライフ・結 訪問看護ステーション	
DP3-2-2	終末期訪問リハにおける家族への介助指導を主に介入した一例	300
	長崎 正義 隠岐広域連立隠岐病院 リハビリテーション技術部	
DP3-2-3	末期がん患者に対して、多職種で連携して環境調整を行った結果、ADL が改善し、本人が望む活動を再開できた事例について	300
	酒井 孝太 桜新町アーバンクリニック 在宅診療部	
DP3-2-4	転倒を繰り返す事例に対する環境調整後の変化	301
	淡田 綾 医療法人博愛会 額田病院 リハビリテーション部	
DP3-2-5	タッチケアと回想法を用いた認知症家族ケアの効果	301
	唐橋 一葉 医療法人あい ハンディクリニック 訪問リハビリテーション	

デジタルポスターディスカッション 3-3

多職種の活動、在宅医療の人材・工夫

7月23日(土) 18:48～19:06 第3会場「レセプションホール」(神戸国際会議場 3F)

座長 田中 弥生 関東学院大学 栄養学部 管理栄養学科
座長 太田 博見 医療法人仁慈会 太田歯科医院

DP3-3-1	誤嚥性肺炎予防を意識した摂食嚥下障害患者へのアプローチ	301
	清水 秀浩 医療法人光輪会 さくらクリニック 在宅診療部	
DP3-3-2	多職種連携において VE を活用し食支援をおこなった肺癌末期患者の一例	301
	福野 雅人 医療法人社団 ユニメディコ サンライズファミリークリニック	
DP3-3-3	液体栄養剤にトロミをつける以外のアプローチで栄養を摂取した嚥下障害患者の 1 例	302
	森田 千雅子 ホームケアクリニック 横浜港南	
DP3-3-4	介護老人保健施設から在宅までのシームレスな介入により経管栄養を脱した一例	302
	渡邊 賢礼 昭和大学 歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔衛生学部	
DP3-3-5	病院で経口摂取不可とされた在宅療養患者に多職種で介入することで経口摂取回復に成功した一例	302
	萩野 礼子 おはぎ在宅デンタルクリニック	

DP3-3-6	在宅医療における多職種連携 オンラインによる嚥下内視鏡検査の情報共有 オンラインによる食支援	302
	井上 百合子 医療法人社団マイスター 歯科事業本部横浜往診部	
DP3-3-7	嚥下障害のあるパーキンソン病の療養者への食支援	303
	青木 奈々 桜新町アーバンクリニック 在宅医療部 ナースケア・ステーション	
DP3-3-8	ヘルパーと協働することで適切な食形態を提供でき体重増加がみられた高齢心不全女性の一例	303
	波多野 桃 ゆみのハートクリニック	
DP3-3-9	食支援を必要とする患者に適切に介入が行われるようにするための取り組み	303
	上林 孝豊 京都民医連あすかい病院	

デジタルポスターディスカッション 3-4

多職種の活動、在宅医療の人材・工夫

7月23日(土) 19:06～19:22 第3会場「レセプションホール」(神戸国際会議場 3F)

座長 植竹 日奈 国立病院機構まつもと医療センター / ケセラ社会福祉士事務所
座長 堤 直也 医療法人社団青い鳥会 上田クリニック

DP3-4-1	医師を中心とした他職種連携による保育所等訪問支援事業の外来歯科治療開始について	303
	後藤 詩織 医療法人社団ユニメディコリハビリテーション部	
DP3-4-2	おじいちゃんおばあちゃんの相談からお看取りまでを寄り添う ～地域で育ち地域に愛着をもった事務この役割～	304
	相馬 彩加 ささえるクリニック岩見沢 診療部	
DP3-4-3	在宅医療を支える訪問診療アシスタント業務の実際 ～アシスタント業務で大切にしていること～	304
	相星 美樹 医療法人太田医院 訪問診療部	
DP3-4-4	在宅室2年間の取組み～Win-Win-Winの関係づくりと顧客確保～	304
	佐藤 英之 みちのく総合診療医学センター 古川民主病院 在宅科、内科	
DP3-4-5	医療機関が行う音楽活動等の地域活動に対する患者の考えと医療機関に対するプライマリ・ケアとの関連： 横断的アンケート調査	304
	永淵 智浩 医療法人葡萄の木 ぶどうの木クリニック 訪問診療部	
DP3-4-6	在宅現場における暴力・ハラスメントへの対応に関する体験型オンライン研修の参加者評価	305
	三木 明子 関西医科大学 看護学部・看護学研究科	
DP3-4-7	訪問看護事業所の管理者が抱える利用者による暴力・ハラスメントへの対応の困難 ～グループインタビュー調査の結果より～	305
	武 ユカリ 関西医科大学 看護学部	
DP3-4-8	大腿骨頸部・転子部骨折入院症例が自宅退院を目指すためには	305
	星野 将隆 船橋総合病院 脳神経内科	